



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

第2回

川崎市地域文化財 ガイドブック



川崎市文化財保護推進キャラクター シッシー君

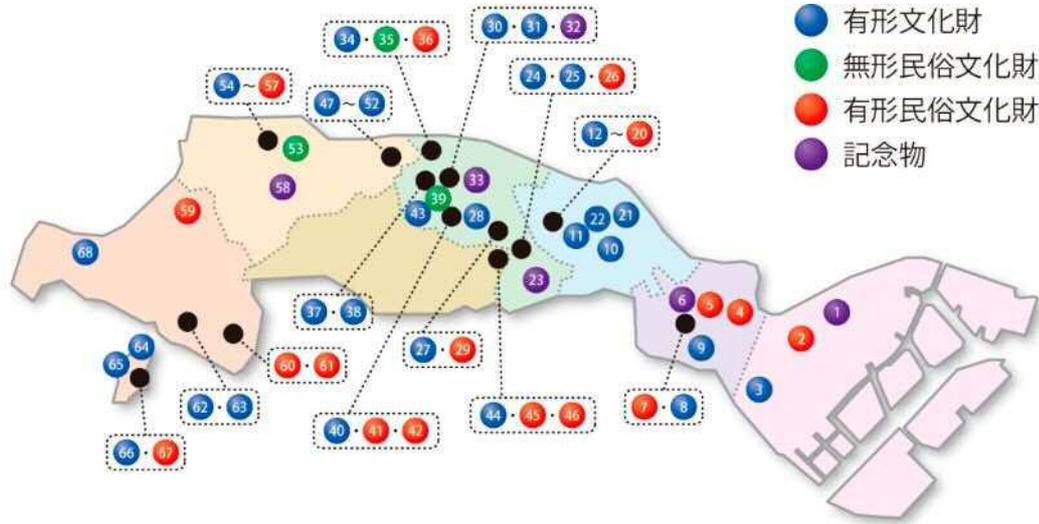
令和2(2020)年9月

川崎市教育委員会

令和元年（2019）年度に決定した第2回川崎市地域文化財を紹介します！ たくさんの御推薦をいただき、68件を地域文化財に決定しました。

川崎市域には、現在、167件の国・県・市が指定・登録等をした貴重な文化財がありますが、それ以外にも多くの未指定文化財があり、なかには消滅の危機に瀕しているものも少なくありません。

川崎市地域文化財顕彰制度は、そうした未指定の、地域に根ざした豊富な文化財を幅広く顕彰・記録することで、地域で守られ、伝えられてきた文化財に光をあて、多くの人々にその価値を伝えていくことを目指します。



〔公開情報の見方〕A：屋外にあり、常時見学可能です。B：博物館施設等に所在し、施設開館時に見学が可能です。C：見学を希望される場合は、文化財課にお問い合わせください(公開時期や公開できる範囲などが限定されています)。D：見学不可(学術研究等のため見学を希望する場合は、文化財課にお問い合わせください) ※「C」「D」の地域文化財の「所在地/主な活動場所」は番地の記載を省略しています(公共施設以外)。



1

長十郎梨

当麻辰次郎が品種改良した大師生まれの梨を小学生が植えて大切に育てている。今では生産木に成長した。

住 川崎市川中島2-4-19 川崎市立川中島小学校

公開情報 C 種別 記念物(動植物関係)

2

藤崎の石造願掛地藏尊像

江戸時代の天明年間に豊作を祈願して建立されたという。戦災で焼損したが、戦後に修復されて遍照寺に移設された。

住 川崎市中島2-12-10 遍照寺

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

3

芭蕉「麦の穂を」の句碑

文政13(1830)年に俳人一種が建立した松尾芭蕉の「麦の穂を たよりにつかむ 別れかな」の句碑。実際に詠まれた八丁畷に立つ。

住 川崎市日進町11-9

公開情報 A 種別 有形文化財(歴史資料)



4

石造本田地蔵尊像

江戸時代の巡礼親子の逸話をもとに、村人によって祀られた地藏尊。「風邪の守り神」として信仰されている。

住 幸区紺屋町26

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

16



大戸神社庚申塔

安山岩製の庚申塔で、中央に邪気を踏む六臂の青面金剛立像を高肉彫りし、下段に三猿が浮彫りされている。本殿左奥の末社に安置。

住 中原区下小田中

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

17



大戸神社石造堅牢地神像塔

安山岩製で、鬘髪を逆立て、右手に戟、左手に花籠を持つ堅牢地神立像が高肉彫りされている。本殿に向かって左奥の末社に安置。

住 中原区下小田中

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

18



大戸神社石造八臂馬頭観音像塔

安山岩製で、蓮華座の上に三面八臂の馬頭観音坐像が高肉彫りされている。本殿に向かって左奥の末社に安置。

住 中原区下小田中

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

19



大戸神社扁額

安山岩製で、江戸時代の文化年間に建立された旧鳥居にかけられていた扁額といわれている。本殿に向かって左奥の末社に安置。

住 中原区下小田中

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

20



大戸神社石造天満宮塔

自然石型の安山岩の正面に「天満宮」の文字が刻まれている。本殿に向かって左奥の末社に安置。

住 中原区下小田中

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

21



泉澤寺鐘樓

格式の高い袴腰付の形式の鐘樓で、屋根は切妻造・瓦葺である。建立年代を示す資料はないが、18世紀後期頃の特徴を示す。

住 中原区上小田中7-20-5 泉澤寺

公開情報 A 種別 有形文化財(建造物)

22



神地神明神社鳥居

大地震等の自然災害に耐えられるよう意を注ぎ、昭和15(1940)年に建てられた鳥居で、構造まで詳細に記録されており貴重である。

住 中原区上小田中6-43-1 神地神明神社

公開情報 A 種別 有形文化財(建造物)



23



海軍東京通信隊蟹ヶ谷分遣隊地下壕

昭和18(1943)年に造られた地下壕の受信所。フィリピン海戦や沖繩戦などで傍受した情報をケーブルで日吉の連合艦隊司令部に伝えていた。

住 高津区久末

公開情報 D 種別 記念物(遺跡関係)

24



千年神社社務所

千年神社の社務所は、旧春日社の拝殿を移築したもので、拝殿の向拝が社務所の玄関になっている。

住 高津区千年539 千年神社

公開情報 A 種別 有形文化財(建造物)

25



千年神社棟札

正保2(1645)年から文久2(1862)年までの紀年銘がある9枚の棟札が伝わっている。合祀の経緯や大工・名主の名前などがわかる。

住 高津区千年

公開情報 D 種別 有形文化財(歴史資料)

26



千年神社手水鉢

文政3(1820)年の紀年銘がある手水鉢で、正面に「奉獻」の文字と2名の寄進者の氏名が刻まれている。

住 高津区千年539 千年神社

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

27



新作八幡宮拝殿

彫刻を多用した拝殿で、彩色が施されていた痕跡が窺われる。棟梁及び詳細な建築年代は不明である。

住 高津区新作3-6-15 新作八幡宮

公開情報 A 種別 有形文化財(建造物)

28



杉山神社追悼碑

日露戦争の際、明治37(1904)年に22歳で中国において戦死した橋村末長の澁谷大助への追悼文が刻まれている。

住 高津区末長2-28-1 杉山神社

公開情報 A 種別 有形文化財(歴史資料)

29



新作八幡宮手水鉢

文政12(1829)年の紀年銘がある手水鉢で正面に「奉納」の文字と両側面に紀年銘と寄進者名が刻まれている。

住 高津区新作3-6-15 新作八幡宮

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

30



溝口神社水屋(手水舎)

嘉永6(1853)年、4人の童子が担ぐ水盤石が氏子中から奉納された。倒壊と再建を繰り返しながら、今日に伝わっている。

住 高津区溝口2-25-1 溝口神社

公開情報 B 種別 有形文化財(建造物)

31



溝口神社水神宮

安政2(1855)年に、名主の家の井戸を親井戸とする「呼び水井戸」を設ける工事が完成したことを記念して、安政3年に参道に建立。

住 高津区溝口2-25-1 溝口神社

公開情報 A 種別 有形文化財(建造物)

32



溝口神社長寿けやき

推定樹齢700年以上といわれるけやきの古木で、溝口神社の御神木。「長寿けやき」と親しまれ、子孫繁栄を願い、広く信仰されている。

住 高津区溝口2-25-1 溝口神社

公開情報 B 種別 記念物(動植物関係)

33



旧平瀬川の流路跡と中原堰の遺構

旧平瀬川に元からあった堰を中原村の人々がコンクリート製に改修したことから、中原堰と呼ばれている。

住 高津区溝口から二子まで

公開情報 A 種別 記念物(遺跡関係)

34



氷川神社祠

多摩川の氾濫に伴って対岸の世田谷区氷川神社から分祀。御神体を納める内陣の石の祠は高さ約50cm、幅約30cmで、年代未詳。

住 高津区宇奈根

公開情報 D 種別 有形文化財(建造物)

35



宇奈根地区の稲荷講

高津区宇奈根地区では、稲荷講が14軒で維持され続けている。御神体の「稲荷像」と「宿簿」が残っており、農村の信仰を窺わせる。

住 高津区宇奈根

公開情報 C 種別 無形民俗文化財

36



氷川神社の扁額

武蔵一宮氷川神社司宮有賀忠蔵の書による扁額で、昭和27(1952)年に氏子中から奉納された。

住 高津区宇奈根646 氷川神社

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

37



津田山碑

後に内閣総理大臣となる犬養毅が揮毫した。大正15(1926)年に津田興二氏頌徳碑とともに建立。地名の由来を示す石碑。

住 高津区下作延7-15-13 津田山公園

公開情報 A 種別 有形文化財(歴史資料)

38



津田興二氏頌徳碑

玉川電気鉄道(現在の東急電鉄)の社長であった津田興二氏の功績を称えた記念碑。大正15(1926)年、津田山公園内に建立。

住 高津区下作延7-15-13 津田山公園

公開情報 A 種別 有形文化財(歴史資料)

39



下作囃子連

下作囃子連は、下作延神明神社を拠点に活動しており、一度は活動が途切れていたが、昭和40(1965)年に復活し、現在に至る。

住 高津区下作延

公開情報 C 種別 無形民俗文化財

40



神明神社祠

神明神社の末社・五郎権現社の祠。三峯神社から譲与されたもので、約1世紀を経過して、氏子有志が屋根を修理した。

住 高津区下作延4-16-1 神明神社

公開情報 A 種別 有形文化財(建造物)

41



神明神社幟(奉納五良大権現)

中央に「奉納五良大権現 橋樹郡 下作延村 惣氏子」、右側に「己丑歳」、左側に「家内□ 氏大字 堂親龍拜□ 印」と記されている。

住 高津区下作延

公開情報 D 種別 有形民俗文化財

42



神明神社幟(奉獻神明宮)

中央に「奉獻神明宮」、右側に「明治四十五年」、左側に「□ 月吉日」と記されている。

住 高津区下作延

公開情報 D 種別 有形民俗文化財

43



陸軍軍用地境界標

昭和17(1942)年11月に現在の宮前区宮崎に移転してきた陸軍第101連隊(通称東部62部隊)の軍用地境界を示す約1mほどの石標。

住 高津区向ヶ丘138

公開情報 A 種別 有形文化財(歴史資料)



宮前区

44



芭蕉「春の夜は」の句碑

松尾芭蕉の「春の夜は さくらに明てしまひけ季」の句碑で、文化8(1811)年、影向寺第21世亮祐住職の代に寄進された。

住 宮前区野川本町3-4-4 影向寺

公開情報 A 種別 有形文化財(歴史資料)

45



影向寺手水石

寛延3(1750)年に野川村ほか數十ヶ村民の結縁により、薬師堂前に奉納された。「稲毛薬師」の信仰の歴史を物語る遺構の1つ。

住 宮前区野川本町3-4-4 影向寺

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

46



影向寺力石

影向石の付近に、江戸時代後期から明治時代にかけての3つの力石が残されている。力比べに使われた。

住 宮前区野川本町3-4-4 影向寺

公開情報 A 種別 有形民俗文化財



多摩区

47 48



堰稻荷神社稲荷社祠・神明社祠

覆殿内に納められた祠で、向かって右が稲荷社祠(47)、左が神明社祠(48)である。京都の伏見稲荷から勧請したと伝わる。

住 多摩区堰

公開情報 D 種別 有形文化財(建造物)

49



堰稻荷神社鳥居

石製の鳥居で、奉納された寛政年間の年号が刻してある。

住 多摩区堰2-5-20 堰稻荷神社

公開情報 A 種別 有形文化財(建造物)

50



堰稻荷神社半鐘

旧久地村の望楼で用いた近世の半鐘。

住 多摩区堰

公開情報 C 種別 有形文化財(工芸品)

51



堰稻荷神社鑿井記念碑

井戸を掘ったことを記念して、昭和11(1936)年に建てられた碑。正面に「堰宇奈根水利組合」の銘が刻まれている。

住 多摩区堰2-5-20 堰稻荷神社

公開情報 A 種別 有形文化財(歴史資料)

52



堰稻荷神社架橋記念碑

橋を架けたことを記念して、昭和3(1928)年に建てられた碑。正面に福田村青年団の名が刻まれている。

住 多摩区堰2-5-20 堰稻荷神社

公開情報 A 種別 有形文化財(歴史資料)

53



登戸台和地区の歳之神

「歳之神(塞ノ神)」と呼ばれる小正月の行事この日だけ2体の石造物を掘り出し、燃える小屋の中に入れる。

住 多摩区登戸

公開情報 D 種別 無形民俗文化財

54



中野島稲荷神社社殿

覆殿内の旧社殿は一間造で、左右の板壁に老人や子どもの彫刻が施されている。上平間の渡辺喜衛門棟続が造営した。

住 多摩区中野島

公開情報 C 種別 有形文化財(建造物)

55



中野島稲荷神社棟札

2種類の棟札が現存しており、そのうちの1枚は天保6(1835)年の年号を明記しているものがある。

住 多摩区中野島

公開情報 C 種別 有形文化財(歴史資料)

56



中野島稲荷神社厨子

中野島稲荷神社の末社である川除稲荷の御神体を納める。年代の記載はないが江戸時代の作と思われる。

住 多摩区中野島

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

57



中野島稲荷神社木造白狐像

高さ約40cmの一对の白狐像。木製で目と口にはベンガラで彩色が施されている。江戸時代の作と伝えられる。

住 多摩区中野島

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

58



五反田川の甌穴群

新生田橋下流の五反田川河床にある甌穴群。岩盤のくぼみにたまった礫が、次第に岩盤を削り、穴が拡大したもの。

住 多摩区生田7-2976番先(五反田川)

公開情報 A 種別 記念物(地質鉱物関係)



59



香林寺最勝散版木

香林寺では、江戸時代後期から観世音御夢想最勝散という粉薬が作られており、その効能書きを刻んだ木版である。

住 麻生区細山

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

60



琴平神社手水舎

本殿手水舎の手水鉢は4人の山伏像によって支えられている。地域では「がまんさん」と呼ばれ、長年親しまれている。

住 麻生区王禅寺400 琴平神社

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

61



琴平神社本殿狛犬

琴平神社本殿の狛犬は、新旧2対ある。地域文化財に決定したのは「天保九戌年十月吉日」の紀年銘がある小型の古い狛犬である。

住 麻生区王禅寺400 琴平神社

公開情報 A 種別 有形民俗文化財

62



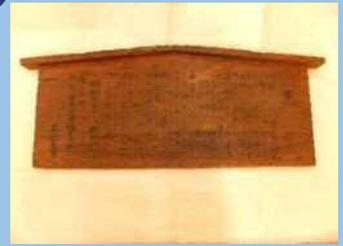
捨馬禁止の高札

梶家は、江戸時代後期に岡上村の名主を務めた有力な農家で、「捨馬禁止の高札」(貞享2(1685)年)が残されている。

住 麻生区上麻生6-40-1 柿生郷土史料館

公開情報 B 種別 有形文化財(歴史資料)

63



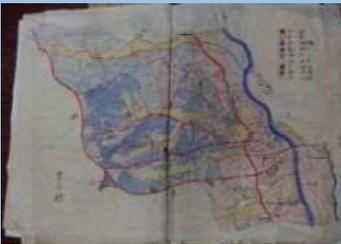
徒党禁止の高札

梶家には、「捨馬禁止の高札」とともに「徒党禁止の高札」(明和7(1770)年)も伝わっており、当時の法令を村人に伝えた様子がわかる。

住 麻生区上麻生6-40-1 柿生郷土史料館

公開情報 B 種別 有形文化財(歴史資料)

64



梶家文書

梶家に伝わる文書類で、文化2(1805)年の門訴の経緯文書や明治時代初め頃の村絵図、字切図など、岡上村の歴史を今に伝える。

住 麻生区岡上

公開情報 C 種別 有形文化財(古文書)

65



宮野家文書

宮野家は江戸時代からの有力な農家で、江戸時代の田畑関係文書や明治～大正時代の禪寺丸柿の出荷関係の資料等が伝わる。

住 麻生区岡上

公開情報 C 種別 有形文化財(古文書)

66



鳥海家文書

鳥海家は、江戸時代終わり頃から5代続く岡上村の大工で、建築・指物の雛形集、図面、契約書類などの資料が伝わる。

住 麻生区岡上

公開情報 C 種別 有形文化財(古文書)

67



鳥海家大工道具

岡上村の大工の鳥海家には、代々使用してきた鋸、鉋、鑿などの大工・指物道具のほか、祀ってきた聖徳太子像が伝えられている。

住 麻生区岡上

公開情報 C 種別 有形民俗文化財

68



金神社木造大黒天像

樺の巨木の一刀彫で、総高は235cmにもなる。江戸時代中期の作とみられ、大正時代に甲府から牛車で運ばれてきたと伝えられている。

住 麻生区白鳥4-3-10 金神社

公開情報 B 種別 有形文化財(彫刻)

編 集 川崎市教育委員会事務局生涯学習部文化財課
住 所 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町6番地
電 話 番 号 044-200-3305 FAX番号 044-200-3756
E - m a i l 88bunka@city.kawasaki.jp

川崎市地域文化財顕彰制度ホームページ

<http://www.city.kawasaki.jp/880/category/10-6-16-0-0-0-0-0-0-0.html>

川崎市地域文化財

検索